

## 2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1 )		
ナンバリングコード	A10202	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル 人間力コア科目/キャリア科目
単位数	1	配当学年 / 開講期	1 / 後期
必修・選択区分	必修		
授業コード	A031052	クラス名	
担当教員名	若林 大輔		
履修上の注意、 履修条件	<p>人間力の育成、地方創生の理解、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。            担任制の授業です。</p> <p>1月7日の成果発表会には必ず出席して下さい。正当な理由がなく欠席した場合は、単位認定されないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間力を養う上で大切な授業となりますので、無遅刻・無欠席で受講して下さい。</li> <li>・ワークショップ時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加して下さい。受け身の姿勢</li> </ul>		
教科書	<p>知へのステップ 第4版－大学生からのスタディ・スキルズ－</p> <p>(くろしお出版) 学習技術研究会 編著</p> <p>※ 前期使用教科書</p>		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	社会参画入門、社会参画応用、社会参画実習2、人間力概論ほか、すべての科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①地域への関心:地方自治体の身近な政策に関心を持ち、自分事にできる。 ②チーム活動:チーム活動に取り組むことができ(主体性)、自分の役割を果たすことができる		10点	20点
【知識・理解】	①情報分析力:収集した情報を分析し、必要な知識を抽出し、理解できる。		5点	
【技能・表現・コミュニケーション】	①コミュニケーション力:チームのメンバーと話し、自分の意見を理解してもらうことができる (発信力)。また、相手の話や意見を聞くことができる(傾聴力)。		20点	15点
【思考・判断・創造】	①情報収集力:インターネット等を用いて情報を収集できる。 ②課題発見力:収集した情報を分析し、テーマの問題点や課題を見つけることができる。 ③文章力:自分の責任範囲の成果が記述できる。		30点	

#### ○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

- ・学修ポートフォリオ【評価シート(事前・事後)、活動記録シート】の書き込み状況を到達目標基準(ループリック)に基づき評価します。(40点)
  - ・最終成果発表会のパワーポイント資料、企画書を到達目標基準(ループリック)に基づき評価します。(チーム評価 & 個人評価で25点)

※評価レベル毎の到達目標基準(ループリック)は、授業内で配付する本科目の「学修ポートフォリオ」を参照して下さい。  
・最終成果発表会のプレゼンテーションを到達目標基準(ループリック)に基づき評価します(チーム評価＆個人評価で10点)。  
・授業に欠席したり遅刻・早退せざるに意欲的に取り組んだ場合、評価の対象となります。(15点)

○授業の目的・概要等	
授業の目的	社会や企業では、様々な価値観・キャリアを持った人々が連携・協力、意見を交わしながら、仕事を進めたり、問題解決したりするのが通常です。本実習では、原則として学科の異なる学生でチーム活動を行い、社会・地域で必要な人間力、社会人基礎力(特にチームで働く力の基礎)＝ジェネリックスキルの向上を図ることを目的に、地方自治体(大分県、大分市)の身近な政策課題に対してチームで課題の整理や根拠のある提案などに取り組みます。本実習を通じて、人間関係形成能力を確固たるものにしていきます。
授業の概要	効果的にジェネリックスキル(コンピテンシー能力、リテラシー能力)を高めるため、学部混成のチーム編成によるワークショップを8回実施(発表含む)します。 ここでは、地方創生をテーマに、提示された地方自治体の政策から興味のある政策を選択し、自分たち若者が政策により関わっていくための具体的な提案をチームで行います。活動を通じた他人との関わりによってコミュニケーション能力を向上させたり、ワークショップをスムーズに進めるための役割分担や時間管理による規律性などを向上し、コンピテンシー能力の向上を図ります。また、自治体の政策や若者の関わりについて、現地調査や図書館・インターネットでの情報収集、情報分析を行い、政策提案する前提となる課題を発見します。その上で実行可能な提案を考え、それを企画書及び最終発表によるプレゼンテーションにつなげリテラシー能力の向上を図ります。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」  (2)複数担当の場合の方 「複数クラス方式」  (3)アクティブ・ラーニング 「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目
実務経験のある教員による授業科目	

○備考欄

## 2019年度 授業シラバスの詳細内容

<p>○授業計画 科目名：社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1 ) 授業コード:A031052 担当教員：若林 大輔</p> <p><b>学修内容</b></p> <p><b>1. 担任授業(1)</b> ■ガイダンス ■担任活動 ■履修再指導</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>2. ワークショップの概要説明【工学部】／担任授業(2)【経営経済学部】</b> ■地方自治体(大分市等)の政策 ■ワークショップの概要 ■課題テーマ出題 ／■プレゼンテーションの基本スキル ■わかりやすいプレゼンテーションのために</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>3. 担任授業(2)【工学部】／ワークショップの概要説明【経営経済学部】</b> ■プレゼンテーションの基本スキル ■わかりやすいプレゼンテーションのために ／■地方自治体(大分市等)の政策 ■ワークショップの概要 ■課題テーマ出題</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>4. 担任授業(3)</b> ■テーマ選択に基づく仮チーム編成 ■情報収集方針の確認 ■事前評価シート記入</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>5. ワークショップ(1)【WSクラス】</b> ■チーム編成 ■情報共有 ■活動方針決定 ■役割分担の決定</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>6. ワークショップ(2)【WSクラス】</b> ■ワークショップ(情報収集) ／ ■出張講義の受講</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>7. ワークショップ(3)【WSクラス】</b> ■出張講義の受講 ／ ■ワークショップ(情報収集)</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>8. ワークショップ(4)【WSクラス】</b> ■フィールドワーク(情報収集) ■情報分析・課題発見 ■中間報告</p> <p>予習： 復習：</p>	<p>○授業計画 科目名：社会参画実習1 (Practice in Social Participation 1 ) 授業コード:A031052 担当教員：若林 大輔</p> <p><b>学修内容</b></p> <p><b>9. ワークショップ(5)【WSクラス】</b> ■情報再分析・課題整理 ■構想 □企画アイデア整理 □企画の方向性の決定</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>10. ワークショップ(6)【WSクラス】</b> ■企画書の作成 ■口頭発表準備(パワーポイントの作成)</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>11. ワークショップ(7)【WSクラス】</b> ■企画書の作成・提出 ■口頭発表準備(パワーポイントの作成・発表練習)</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>12. 合同ワークショップ(1月7日)【発表会クラス合同】</b> ■全チームによる成果発表会 ■代表チームの選出</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>13. プレースメントテスト【学科】</b> ■プレースメントテスト ■社会人基礎力自己評価</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>14. 全体成果発表会【全体授業】</b> ■代表チームによる発表</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>15. 担任授業(4)</b> ■振り返り ■振り返りシートの記入 ■面談 ■受講アンケート</p> <p>予習： 復習：</p> <p><b>16.</b></p> <p>予習： 復習：</p>
--	--